

「節約と浪費 イギリスにおける自助と互助の生活史」

ポール・ジョンソン(著)

真屋尚生(訳)

慶應義塾大学出版会 1997年9月10日刊

市場経済中心の経済運営の一環として、この4月の改正外為法を皮切りに、次々に金融活動の自由化つまり金融ビッグバンが進められてゆくことになっている。その中で、銀行、生命保険会社、証券会社、年金基金などのあり方などを巡る議論が喧しく論じられている。また低成長、少子高齢化によってこれまでの社会保障制度が破綻に瀕し、公的年金の民営化論をはじめ、自助努力、自己責任による生活保障の道が強く求められている。

著者はこのような近年の金融制度改革、財政構造改革に関する議論が、1890年代のイギリスに於ける議論と類似していると指摘している。それは、いかに私的な相互扶助と国家的な社会保障の相対的な利点を評価するか、そしていかに両者を組み合わせれば、社会保険として最適かという議論である。

本書はビクトリア時代から第二次世界大戦勃発までの、イギリスの労働者階級の貯蓄、保険、借金、月賦、質入など金融活動に焦点を当てながら、自助と互助の相互依存性を分析している。本書で対象となっている期間は二つに分けられる。先ず第一に、ビクトリア朝の個人主義の時代である。この時代には、困窮者に対する公的救済は削減され、自助努力によって自らの生活を支えるべきであるという議論が幅を利かせた。第二に、両大戦間期の不況の時代である。この時代には国民健康保険と失業保険が拡張され、公的扶助の割合が増加した。

しかし、著者は両大戦間に自助努力が低下したわけではないと主張する。19世紀後半と20世紀初期のイギリスの労働者階級にとって、自助努力とは、決して個人主義的金銭的自立あるいは私的貯蓄を意味するものではなく、不確実な経済社会において、危険と財源を共済組合、疾病互助会、貯蓄互助会、保険互助会、労働組合、協同組合などを通して、相互扶助的に保険し、消費生活を安定化させることだったことが明らかにされる。すなわち、自助といっても個人で十分に貯蓄できるだけの所得もなければ、安定的な雇用が確保されていた訳でもない。例え、政府の保険制度が導入されたとしても、日々の生活を支える相互扶助的な機能を互助会や組合に求めたのである。また、著者はこのような相互扶助が必ずしも運命共同体的連帯から生じたものではなく、極めて競争的な個人主義に支えられたものであることも指摘している。

この点は、これまでの歴史家が階級意識によって組合活動に参加していたとする視点とは大いに異なる。つまり著者はその結論で「本書では、労働者たちが行った金銭上の問題に関する、特異な選択肢の組み合わせについて検討してきた…。選択の範囲が極度に制限されていたのは、大部分の労働者たちの所得が低く、予想困難な変動をするためであった。そのため、彼らは、まずまずの経済的保障と独立を確保しようとするれば、危険を分担し、共同で資金を貯め、支払いは分割払い方式をとらざるをな

かった。保障と独立に対する願望があったのは、それによって防止するもの(慈善または公的扶助への依存)と、それによって可能になること(地域社会のなかでの個人的な地位の保全または向上)が、ともにあったためである。とられた手段は時に相互的かつ集産主義的であったが、目的は個人的かつ競争主義的であった。自助努力は断続しても、利己心は継続した。」(pp.204-5)と論じている。

市場は万能であるという見解に立つと

翻って、現在の金融ビッグバンの潮流の中で、公的社会保障制度の役割は決して低下するものではないだろう。

市場機能

本書の中で指摘されたいくつかの面白い歴史的事実を列挙してみよう。例えば、ビクトリア時代には労働者階級でも葬儀には非常にお金をかけた。

1991年度のノーベル経済学賞を受賞したロナルド・H・コース教授はシカゴ大学教授であるが、出身はイギリスであり、大学院教育もロンドン大学(LSE)で受けている。彼が引退後の仕事としてアルフレッド・マーシャル教授(ケンブリッジ大学、1842-1924年)の伝記を書こうとしていたことは意外と知られていない。結局、忙しすぎてコース教授は伝記を書くには至っていないが、これまでに何本かのマーシャル教授およびその家族についてのエッセイを発表している。

コース教授の調査したところによると、マーシャル教授の母方の情報が意図的に隠蔽されていた

というのはマーシャル教授の母親は、労働者階級に入る、肉屋の娘であり、その母親は農業労働者階級の出身であった

マーシャル教授は主著「経済学原理」の中で、遺産相続が主たる貯蓄動機であると述べている。マーシャル教授は遺産相続によって、その子孫がより高い社会的地位につくことを美德とし、自らもそれを実践してきた人である。

社会経済行動の多面性、多様性、制度や歴史の複雑さ。